

重症心身障がい児(者)看護

笑顔のある温かな看護を
実践しています

食事風景

経口摂取できる方、
経管栄養の方、それぞれの特徴
に合わせ、安全に摂取できるよう
配慮しています

また、楽しい時間となるよう
雰囲気づくりも意識しています



看護実践風景

呼吸音、痰の状態を観察し、
呼吸状態の安定に努めています

普段の患者さんを知り、注意深く観察する
ことで、少しの変化も見逃さないことが看護
師として、とても大切なことです



ちょっとした ふれあいタイム

学童期には病院からの通学
もしくは病棟での
授業があります

新人看護師が
「授業頑張ってきてね！」と
声かけしています



療育風景

療育は、患者さんの「生活の
質」の向上や成長発達において、
とても大切です

音楽を聴くこと、肌で感じる刺激、
周りの環境や活動による適度な
ストレスが良眠につながったり、
体調管理にも良い影与えます

児童指導員、保育士、療養介助
員、看護師など、多職種で関わり
季節を感じる催しを行って
います



入浴風景

安全とプライバシーに配慮
しています

患者さんは入浴が大好き！心身ともにリラックス
できる貴重な時間です
患者さんの状態に合わせ、
ミスト浴とエレベートバスが
あります



多職種カンファレンス

患者さんの健康状態、栄養、活動、余暇、
リハビリなどについて、看護師だけでなく
医師やリハビリ、保育士などの多職種で
意見交換します

それぞれの専門的な知識や経験を活かし、
患者さんの生活を支えています



～令和5年度副看護師長会・重心看護グループ作成～

